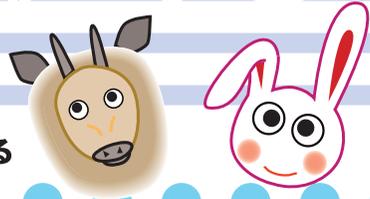


わた らせ

わたらせがわ きくみるあそぶ



川のことを知るといろいろみえてくる

もっとよく知るために



もっといろいろ知りたいと思った人は！

わたらせ



川のふれあい館「せせら」

へ行ってみよう！！

開館時間：9：30～16：00

休館日：毎週木曜日（休日の場合は翌日）
年末年始

入館料：無料

〒326-0046 栃木県足利市岩井町465-1

渡良瀬グリーンプラザ3階

TEL 0284-44-3001

交通のご案内



最寄り駅：JR両毛線 足利駅より 徒歩20分

東武伊勢崎線 足利市駅より 徒歩25分

自動車：東北自動車道 佐野藤岡ICより 35分

【流域編】

国土交通省 渡良瀬川河川事務所



はじめに

みなさんは「渡良瀬川」ときいて、どんなことを思いうかべますか。

水あそび、魚釣り、河川敷でのゴミひろい、きれいな川、きたない川・・・。

同じ川なのに、みなさんの住んでいる場所や利用の仕方によって、それぞれちがった印象をもっていることでしょう。

近くにあっても、知らないことはたくさんあります。そして、川のことを知ることで、より一層楽しくなるはずです。この本は、みなさんがもっと川に興味をもって、あそび・まなんでいくためにつくりました。

さあ、この本をもって、近くの川にでかけてみましょう。



ナビゲーターの紹介



「うさこ」から

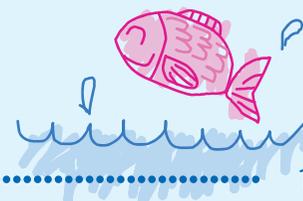
「わたしはまだ勉強中。みなさんといっしょに、渡良瀬川について勉強していこうと思ってるの。わからないことは、先生はもちろん、おじいちゃんやおばあちゃん、お父さんやお母さんにも聞いてみましょうね。」



「カモッシー」から

「ワシは昔からこのあたりに住んでいるカモシカじゃ。みんなにはちょっとむずかしい話はワシが解説しよう。」

もくじ



- 1 渡良瀬川の紹介
 - ① 渡良瀬川を知ろう 1
 - ② 渡良瀬川のうつりかわり 3
- 2 渡良瀬川のできごと
 - 舟の利用と産業 5
- 3 渡良瀬川の文化
 - 川と私たちの生活 7
- 4 洪水とのたたかい
 - 災害と防災その1 9
 - 災害と防災その2 11
 - 災害と防災その3 12
- 5 渡良瀬川と水の利用
 - 水の利用の状況 13
- 6 渡良瀬川と水質
 - 水質の状況と水をきれいにする施設 15
- 7 渡良瀬川にすむ生きものたち
 - ① 魚 17
 - ② 底生生物 19
 - ③ 植物 21
 - ④ 鳥 23
- 8 渡良瀬川の風景
 - のこしておきたい風景 25
- 9 渡良瀬川であそぶ
 - 水あそび・さんぼ・スポーツ 27
- 10 川に行くときの準備と注意点 29
- もっとよく知るために
 - わたらせ川のふれあい館「せせら」へ行ってみよう !!



1 渡良瀬川の紹介

① 渡良瀬川を知ろう

● 渡良瀬川流域 (わならせがわりゆういき)

渡良瀬川は、群馬県と栃木県の境にある皇海山という山から始まります。最初は松木川という小さな流れですが、いくつかの小さな流れが集まり、渡良瀬川と名前も変わります。

群馬県みどり市大間々町までは急な流れですが、桐生市、足利市に入ると川幅も広がり、藤岡町では渡良瀬川流水地をとおり、茨城県古河市で利根川に合流します。

渡良瀬川の流域は、上流から下流までの間に合流する、桐生川や巴波川、思川など23の支川を合わせるとその面積は2,621km²となり、群馬県、栃木県、茨城県、埼玉県の4県にまたがります。(🐰)

● 渡良瀬川

渡良瀬川の川の長さは107.6kmで、前橋から東京までの直線距離とほぼ同じ長さになります。渡良瀬川が流れる市町村は、13市町村もあります。(右上の表を見てください)



流域というのは、降った雨や雪が、ある一つ川に集まってくる範囲のことをいうのじゃ。
支川は、一番長く水の量も多い渡良瀬川に合流する川のことをいうんだ。桐生川や旗川などが支川ってことになるな。



● うさこの“はてな？”

渡良瀬川ってすごく長いよね。でも支川とか流域面積ってなんだろ。カモッシーに置いてみようつと。みんなは知ってる？



1 渡良瀬川の紹介

② 渡良瀬川のうつりかわり

● 大昔の渡良瀬川

渡良瀬川はいつから、どんな風に流れていたのでしょうか。

川ができた頃は、まっすぐ南へ流れていたようですが、約1万年前に南東に流れるようになったとされています。

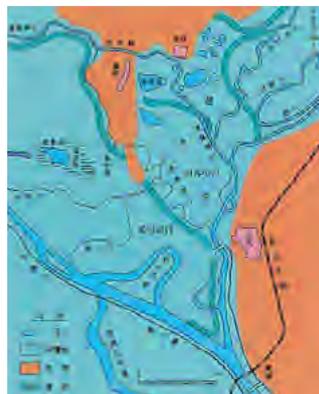
渡良瀬川の流域には、縄文時代の頃から人々が生活していたあとが残っています。多くの遺跡が発見されており、人々は日当たりのよい高台に暮らしていたことがわかっています。

● 古代から江戸時代までの渡良瀬川

今でこそ渡良瀬川は利根川の支川になっていますが、1000年ほど前には「太日川」と呼ばれていて、足利市のあたりから矢場川を通り、利根川と平行するように流れていました。

そしてそこから五霞村を流れて、今の庄内古川を通り、金杉から千葉県ちばけんの流山・松戸・市川の町を通りすぎて、現在の江戸川の川筋かわすじを流れていました。

江戸時代になると、現在の東京湾とうきょうわんに流れていた利根川を千葉県ちばけん銚子市ししに流れるようにする工事（これを利根川東遷とうせんといいます）が行われ、別々に流れていた利根川と渡良瀬川がつながるようになりました。



● うさこの“はてな？”

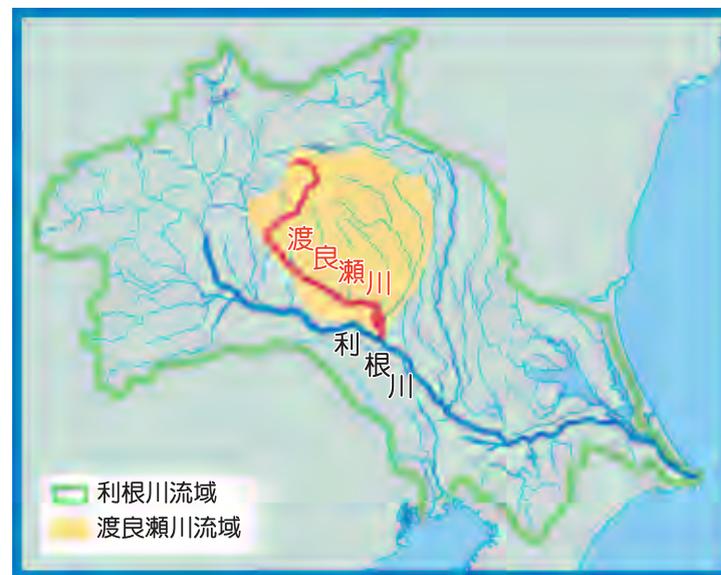
近くのおとなの人たちに川の思い出ばなしをきいてみよう！みんなが生まれる前から今まででも、ずいぶん変わっているみたいだよ。

● 明治時代から現在（うさこ）

明治時代のおわりから、さらに工事が行われ、渡良瀬川は大きく変化しました。

それまでの渡良瀬川は、藤岡町で南に向きを変え、今の渡良瀬遊水地の下側から古河まで流れ出していました。明治のおわりから昭和のはじめの工事によって、藤岡町の台地をけずって放水路ほうすいろうをつくったので、川の水は赤麻沼（現在の渡良瀬遊水地内）に流れこむようになりました。

それ以来、現在までに第1から第3まで3つの調節池ちょうせつち（うさこ）が完成しています。



放水路とは、台風や大雨で川があふれそうになった時に、大きな川に水を流して洪水をふせぐため、人工的につくった水路のことなのじゃ。調節池には、洪水の時などに水を途中でためておいて下流に流さないようにする役割があるんじゃ。



2 渡良瀬川のできごと

舟の利用と産業

●舟の利用（舟運）

今とちがって車や電車が発達していなかった頃、川を使った船による運搬は人や食べ物などの物資を大量に運ぶための、大切な手段でした。江戸時代には、米の輸送などを目的に河川の改修工事も行われ、流域各地から農産物や日用品などが江戸へ運ばれていきました。渡良瀬川には河岸（物資を積んだりおろしたりするところ）が16ヶ所もありました。

江戸時代中期頃の記録によると、江戸へ運ばれた物資はおよそ80種類にもなりました。主なものは、米や炭、木材、織物などです。また江戸方面からは、塩や油、酒などが運ばれてきました。



●織物

足利の織物は、鎌倉時代に書かれた随筆「徒然草」の中にも出てくるほど古くからある産業でした。また桐生は江戸時代「西の西陣（京都で有名な織物のまち）東の桐生」と呼ばれていました。

織物は、渡良瀬川の水で染めた糸や布を洗い、渡良瀬川の水によって江戸をはじめ全国各地へと運ばれました。

また、渡良瀬川の支川・桐生川では布を染めるために使った染料のりを落とすため、豊富できれいな水を利用して洗い流す「友禅流し」の美しい光景が見られました。しかし今では、化学染料の発達や機械化のため、観光用として残されているだけとなりました。



●足尾銅山

足尾銅山は、江戸時代の初期に発見されてから、1973年に閉山するまでの360年あまり、日本の産業を支えてきました。足尾銅山から産出された銅は、全国の40%を占め、日本一の銅山でした。

しかしその反面、環境破壊が大きな社会問題ともなりました。「鉱毒事件」（)と呼ばれているものです。銅山から流れ出した有毒物質で川が汚れてしまったのです。

閉山後、破壊された自然を取り戻すための努力が続けられ、渡良瀬川にもきれいな水が戻ってきました。

また、現在「銅山観光」としてテーマパークになっているので、トロッコ列車に乗って坑内を見学することができます。



●うさこの“はてな？”

みんなが住んでいる所ではどんな産業があるのかな？昔からあるものや最近始められたものなど、きつといろいろあるよね。調べてみよう！

いっしょにやってみよう

《足尾の山に緑を取り戻そう》

日光市足尾町の大畑沢では、荒れてしまった足尾の山に木を植える活動が行われています。

特にボランティア団体「足尾に緑を育てる会」では、毎年春の植樹会（4月第4日曜）や秋の観察会（10月第4日曜）などを行っています。植樹会では、ミズナラ、レンゲツツジ、ニセアカシアなどの苗木が植えられます。

みんなも植樹に参加して、木や緑の大切さを実感してみよう！



足尾銅山鉱毒事件では、国会議員の田中正造という人が、「天皇への直訴」をこころみるなど、川や住民を守るために必死の活動を続けたのじゃ！



3 渡良瀬川の文化

川と私たちの生活

● 民話

渡良瀬川は、遠い昔から私たちとかがわりあっていました。
 飲み水や水田、舟運などに利用され、私たちの生活を支えたり、
 水とふれあうことのできる大切な“ふるさとの川”であると同時に、
 洪水などによって多大な被害ももたらしてきました。
 こうした水との長い間のかがり合いから、川にまつわる民話も
 多く生まれました。
 足尾町に伝わる「渡良瀬川という名のおこり」、太田市に伝わる
 「ダイダラボッチ」足利市に伝わる「竜神様のくれた膳と椀」など、
 川と人々のかがり合いを、今に伝える物語がたくさん残っています。

● 生活の工夫

川からの恵みと同時に洪水の被害を受けていた昔の人々はいろいろ
 な工夫をしていました。

【水 塚】

利根川と渡良瀬川にはさまれた地域では、昔から洪水などに悩ま
 されてきました。

そこで、水害から命や財産を守るために、緊急用の物資や米・み
 そ・衣類などをあさめておく「水塚」と呼
 ばれる土台を高くした小屋がつけられました。

いったん洪水が起こると、水がひくまで
 人々は長い間、水塚に避難していなければ
 ならないことが多く、建物内には避難生活
 に必要な日用品などもおかれていました。



【揚 舟】

揚舟は、ふだんは家の軒下などにつるしておき、水害時に人や家
 畜、食料などを水塚へ運んだり、近くの高台へ運んだりしました。



●うさこの“はてな？”
 聞いたことがあるお話はある？
 ほかに、川にまつわる民話はたくさんありそう！
 おじいちゃん、おばあちゃんや
 近所のお年よりもきいてみましょう！

竜神様のくれた膳と椀

今の足利市の八幡神社近くに、深い淵がありました。
 あまりにも深い淵のため、竜神様が住んでいると信
 じられていました。

前の年の大洪水で、家や着物まで流されてしまった
 この村では、祭りの時に神様にお供えをするためのお
 膳やお椀もありませんでした。

そこで村の人々は、淵の水神様である竜神様にお膳
 やお椀を貸してもらおうと、心をこめてお祈りしました。
 すると、その翌朝、りっぱなお膳とお椀が淵のそば
 に並べられていました。

無事お祭りを済ませることができた村人たちは、また
 淵に返しておきました。

それからというもの、村祭りのお膳とお椀は必ず、こ
 の淵で竜神様から借りて使うようになりました。

ところが、ある年の祭り当番の男がとてつもなく深く用
 具の一部を返しませんでした。

川は怒り大洪水となって、
 その男の家も流されてしまいま
 した。それ以来、いくら村人たちが
 お祈りしても、竜神様はお膳
 やお椀を貸してはくれなくなって
 しまったそうです。



水塚は、今も栃木県藤岡町や群馬県板倉
 町などに残っているんじや。



4 洪水とのたたかい

災害と防災 その1 (洪水)

●渡良瀬川わたらせがわの主な洪水

川は、わたしたちに大切な自然の恵みを与えてくれるとともに、ときに洪水によって大きな被害をもたらすこともあります。

渡良瀬川流域でも、これまでたびたび洪水の被害に見舞われてきました。(🐰)

明治以降 <small>めいし</small> の主な災害		
明治35年 (1902)	9月洪水	(足尾台風)
43年 (1910)	8月洪水	
大正2年 (1913)	8月洪水	
昭和13年 (1938)	8月洪水	
22年 (1947)	9月洪水	(カスリーン台風)
23年 (1948)	9月洪水	(アイオン台風)
24年 (1949)	8月洪水	(キティ台風)
33年 (1958)	9月洪水	(狩野川台風)
34年 (1959)	9月洪水	(伊勢湾台風)
41年 (1966)	9月洪水	(26号台風)

●カスリーン台風

なかでも昭和22年9月に関東地方をおそったカスリーン台風は、戦後最大級の規模で、渡良瀬川流域だけで死者・行方不明者が700人を越える大惨事を引き起こしました。

秋の長雨で地層がゆるんでいるところへ、カスリーンは集中豪雨をふらせため、土石流(🐘)が流れくんだり、東村(現・みどり市)・黒保根村(現・桐生市)、大間々町(現・みどり市)に大きな被害をあたえました。



また足利市・桐生市では堤防が決壊し、死者・行方不明者が465人、流されたり壊れた家は31,062軒もありました。

はげしい流れの中をつなを頼りにあるく人々(足利市)



●うさこの“はてな?”

みんなが生まれる前の台風や洪水の思い出、体験をお父さんやお母さん、先生に聞いてみよう。みんなはどんな台風を体験したことがあるかしら?

ダムや遊水地あそみずちがつくられ 洪水を小さくすることに役立っています

渡良瀬川流域はこうした大きな被害がたびたびありましたが、草木ダムや桐生川ダム、松田川ダムや渡良瀬遊水地がつくられてから大きな水害はへってきました。ダムや遊水地は大雨や台風の際に水をためておくことができ、洪水を小さくすることができるからです。



整備前



整備後

堤防ていぼうをつくります

ダムや遊水地だけでなく、堤防も昔から洪水をふせぐためにとても大切な役割がありました。もちろん、洪水がおきないように、今もつくられています。



土石流どせきりゅうというのは、山や谷の土・砂・石などが大雨による水と一っしょになって、ものすごいスピードで流れてくることなんじゃ。



4 洪水とのたたかい

災害と防災 その2 (土砂災害)

●土砂災害がおこるわけ

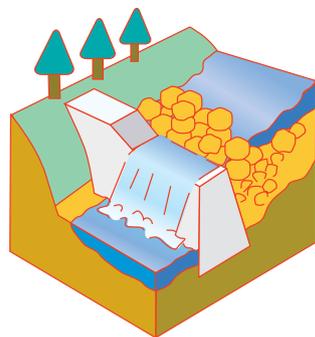
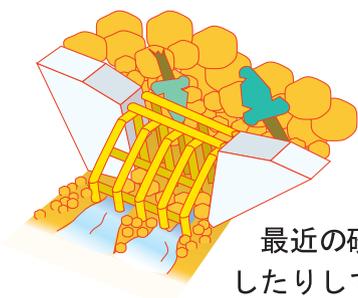
そもそもなぜ、カスリーン台風の時のように、土石流が流れるなどの災害が起きるかという、日本には急な川が多く、雨や風でけずられやすい岩石や土でできているためなのです。そのため、つゆや台風のように一度にたくさんの雨がふると、地層の弱い部分がくずれて土砂災害が発生してしまうのです。

●土砂災害をふせぐために

土砂災害をふせぐためには、荒れた山に木を植える、砂防えん堤をつくる、川の流れをなおす、がけくずれがないように工事をするなど、さまざまな方法があります。

砂防えん堤をつくりま

大雨などで土砂が大量に流れてきたときは、砂防えん堤は多くの土砂をせきとめ、一時的にためておくことができます。



最近の砂防えん堤は、ジャングルジムのような形にしたりして、小さな砂などは流してしまい、大きな岩や木が流れてきたときにとめるようにするえん堤もあります。



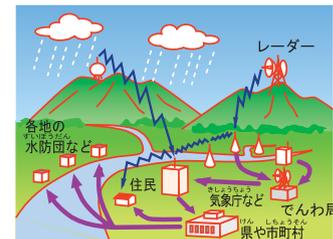
●うさこの“はてな？”

洪水をふせぐ方法は、いろいろあるのね。でも、それでも洪水がおきてしまったら、どうしよう！

災害と防災 その3 (新たな技術)

●防災のための新しい技術

堤防や砂防えん堤だけでなく、コンピューターなどをつかって情報を集め、水害がおこりそうな場所をチェックして、住民にその危険性を知らせてくれるシステムの開発が行われています。レーダーなどにより、雨の量や川の水位を監視して、どこで洪水の危険性があるか、避難の必要があるかという情報を、テレビやラジオ、有線放送などを通じて私たちに知らせてくれます。(🐰)



また水害の危険度を、わかりやすい地図したのがあります。これを洪水ハザードマップといいます。

これを見れば、ひと目で危険な場所がわかり、避難するときの役に立ちます。

この地図は、役所や公民館などでいつでも見ることができるので、機会があったら見てみましょう。



コラム

《日ごろの心がけ》

非常食や持ち出す物を準備しておきましょう。
(レトルト食品や缶づめ、水、懐中電灯や携帯ラジオなど)

《いざという時》

1. テレビやラジオの情報に耳を傾けて、避難命令にはすみやかに従いましょう。
2. 避難する時は、荷物は少なめに、運動くつで。
3. ひとりでは行動しないで、川や池などには近づかないようにしましょう。



避難のとき、荷物が多すぎてもあぶないぞ！
本当に必要なものだけを用意してもち出すようにすることじゃ！



5 渡良瀬川と水の利用

水の利用の状況

●水の利用ってなんだろう

水の利用とは、水を生活に役立てようとするをいいます。

渡良瀬川の流域の人々は、昔から川の水を利用して生活してきました。それは現代の私たちにとっても同じです。

渡良瀬川の水は、農業用水、水道水、工業用水、水力発電に利用されています。草木ダム、桐生川ダム、松田川ダム、庚申ダム、黒坂石ダムなどは、それらのいろいろな利用目的があります。

農業用水

渡良瀬川の水は古くから農業用水として利用されてきました。今でも、25ヶ所で渡良瀬川やそのほかの川から水を取り、みんなの家のまわりにもある農業用水路（）をとあって、田んぼに水をひいています。



水道水

みんなが毎日使っている水道の水は、もともと川の水です。草木ダムや桐生川ダム、松田川ダム、渡良瀬遊水地などの15ヶ所から送られています。その中で一番多いのは、草木ダムです。



工業用水

工業用水は、工場の中のいろいろな施設しせつに使われる水です。栃木県日光市足尾町の3つの工場と群馬県みどり市大間々町の1つの工場の合計4ヶ所で使われています。



●うさこの“はてな？”

いろんな場面で使われている水。
みんなは1日にどれくらいの水を使ってるのかな？

水力発電

水力発電は、水の力を利用してみんなが使っている電気をおこすものです。発電のための水の利用は、足尾発電所をはじめ、草木ダム、高津戸ダム、桐生川ダムなどの7ヶ所で行われています。



コラム

《水を大切に使いましょう》

みなさんが毎日なにげなく使っている水。

1日にどのくらいの量を使っているか、わかりますか？なんと、1人あたり約324リットル。

しかも、この量は20年前と比べて約1.5倍も増えているのです。

長い間、雨がふらない日が続いたりすれば、水はなくなってしまいます。プールやまつりなどが中止になった年もあります。

歯をみがく時やシャワーを使う時など、水を大切に使うよう、こころがけましょう。



農業用水路は、川の水を田んぼや畑に運ぶための「水の道路」のようなもの。単に農作物を育てるためだけでなく、野さいや農機のうき具を洗ったり、消防にも役立っているんじゃ。



6 渡良瀬川の水質

水質の状況と水をきれいにする施設

●水質って？

水質とは、水の汚れの度合い、きれいさの度合いのことです。水質はその川の生きものたちの生命にもかかわる大切なものです。

水質は、水のとうめい度やにおいなどでも、ある程度わかりますが、パックテスト (🐮) を行うと、色の変化でかんたんに水の汚れぐあいわかります。

●渡良瀬川の水質

渡良瀬川の水質は、明治時代の足尾鉍毒事件によって、一時はひどく汚れてしまいましたが、近年は水の中にふくまれる銅の量も少なくなってきました。しかし、工場などが多くなったり、人口が増えたことで、工場や私たちの家庭から流される水 (🐰) が多くなり、水質の汚れは昭和50年代にピークをむかえましたが、その後は少しずつ良くなっています。

川ではBODなどの項目で汚れの目安 (水質基準といいます) が決められていますが、2000年の調査では、桐生市の赤岩橋、足利市の葉鹿橋、中橋、館林市の渡良瀬大橋などの渡良瀬川の主な地点でその目安よりきれいでした。

●水質をよくするために

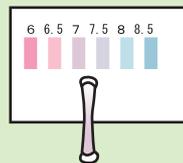
渡良瀬川の支川の矢場川や袋川などでは、特に住宅地や工場から出るきたない水によって、水はにごり水質も悪くなりました。

そこで「下水処理場」や「浄化施設」 (右上の図) をつくり、水をきれいにしているのです。今ではずいぶんきれいな川になっています。



パックテストはみんなにもできるぞ！
色の変化で水のきたなさがわかるのじゃ。

1. ピニールのパックに穴をあけます
2. 水を吸い上げます
3. 色がかわったら表と比べてみて！



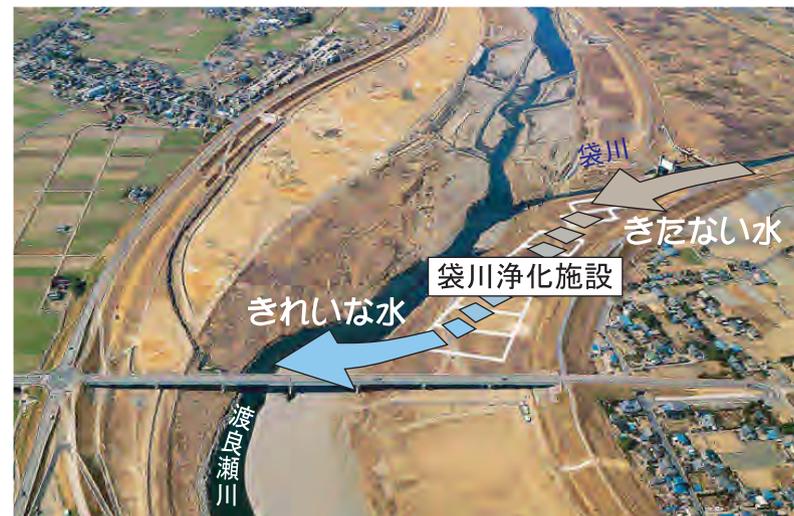
パックの中のクスリが手につかないように注意してね



●うさこの“はてな？”

わたしたちが使った水？！
そんなに汚れた水なんて流してないと思うけど。
下のクイズをやったらびっくりしちゃうた！

袋川浄化施設



ためになるクイズ

みんなの家の台所から何気なく流されている米のとぎ汁や天ぷら油。それらがどれほど川の水を汚してしまうか知っていますか。

汚れてしまった川の水をきれいな水に戻すためには、お風呂の水何杯くらい必要でしょうか？！ (線で結んでみましょう)



- | | | | |
|--------------|---|---|--------|
| ①牛乳 200m l | • | ア | 1.3杯分 |
| ②米のとぎ汁 1l | • | イ | 1.7杯分 |
| ③天ぷら油 500m l | • | ウ | 1.7杯分 |
| ④コーヒー 250m l | • | エ | 31.5杯分 |
| ⑤みそ汁 200m l | • | オ | 8.3杯分 |
| ⑥ビール 350m l | • | カ | 830杯分 |

7 渡良瀬川にすむ生きものたち

①魚



●うさこの“はてな？”

みんなの家の近くではどんな魚がいるのが調べてみよう！
近くにつりをしている人はいるかな？

渡良瀬川には、現在およそ45種類の魚がすんでいます。数ではとくにアユが多く、つぎに多いのはウグイとオイカワです。

また、川の長さは100kmぐらいあり、上流、中流、下流ですんですんでいる魚もちがってきます。

上流



イワナ (サケ科)

最上流近くの淵にすみ、昆虫や小魚を食べる。警戒心がとても強い。



ヤマメ (サケ科)

川で一生涯を過ごし種と海で成長するものがある。冷たい清流を好み、秋に産卵。



ナマス (ナマス科)

水草のたくさんある場所において、夜や水がにごった時に水面の小魚やカエルをつかまえて食べる。



メダカ (メダカ科)

下流の流れがゆるやかなところにおいて、明るくなると動き出す。夜は水草のなかですごし、小さな昆虫などをたべる。

イワナ
ヤマメ
カジカ
ウグイ
ニジマス
アユ

黒坂石川
草木ダム



アユ (キュウリウオ科)

春から秋にかけて、おもに中流で生活。秋に海へくだり、春までくらす。なわばり意識がとても強い。



アブラハヤ (コイ科)

体形が細長くスマート。上流・中流の岸よりに多く、底生生物やモ類などを食べる。

中流

桐生川

高津戸ダム

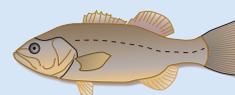
桐生市

オイカワ アユ
カマツカ
アブラハヤ
ワカサギ
コイ フナ



メダカ
モツゴ
シマトジョウ
ホトケドジョウ
など
コイ
ウナギ
ギンブナ
ナマス
ゲンゴロウブナ

下流



ブラックバス

最近、“ブラックバス”“ブルーギル”などの外国うまれの魚がふえて、もともといた魚たちがすみづらくなってきているんじゃ。



7 渡良瀬川にすむ生きものたち

②底生生物



きれいな水にすむ生物



カワゲラ ナガレトビケラ
サワガニ、アミカ、ブユ
ヒゲナガカフトビケラ



よごれた水にすむ生物



タニシ科 シマイシビル
フジツボ、イソコツブムシ
ミズムシ、ニホンドロソコエビ



●うさこの“はてな”

みんなの家の近くの川の水はきれい?きたない?
そこにいる生物でそれがわがっちゃうんですって。

底生生物は、「きれいな水にすむ生物」や「とてもよごれた水にすむ生物」などがいて、その種類によって川の水質を知ることができます。



とてもよごれた水にすむ生物



イトミミズ



サカマキガイ



アメリカザリガニ



川の中の石をそっとめくってごらん。
いろいろな生物が見つかるはずじゃ。

上流

黒坂石川

草木ダム

中流

桐生川

高津戸ダム

桐生市

蓮台寺川

足利市

袋川

旗川

秋山川

矢場川

三杉川

巴波川

思川

渡良瀬遊水地

下流

利根川



少しよごれた水にすむ生物



カワニナ



ウルマーシマトビケラ



コガタシマトビケラ

ヒラタドROMシ、オオシマトビケラ、イシマキガイ
セタシジミ、ゲンジボタル、ヤマトシジミ



そのほかよく見られる生物



ヘビトンボ



チラカゲロウ



シロタニガワ
カゲロウ



コオニヤンマ

7 渡良瀬川にすむ生きものたち

③ 植物

渡良瀬川には、大きな木や草、花を咲かせる植物など、657種類（1999年の調査）も見つかっています。



●うさこの“はてな？”

家の近くで調べてみよう！図かんがあれば、もっていくとわかりやすいわね。染めものに使う草もあるんですって。



コウシンソウ

しめった日かげの岩に生える食虫植物。ねばねばした葉で虫をつかまえる。（天然記念物）

コウシンソウ カワヤナギ
シラカンバ スギ ヒノキ
シャクナゲ ヤマユリ
サクラ クリ コメツガ
ミズナラ クヌギ
ツルヨシ コナラ オギ



カッコソウ

山野の日あたりのよい草地に生える。むらさき色の花をつける。

上流

黒坂石川

草木ダム

高津戸ダム

桐生川

桐生市

中流

足利市

矢場川

旗川

秋山川

三杉川

下流

渡良瀬遊水地

利根川

巴波川

思川



カワヤナギ

川辺のしめったところに生える背の低い木。早春に花を咲かせる。

カッコウソウ ススキ
カタクリ チカラシバ
フジ シナダレスズメガヤ
ザゼンソウ ヒガンバナ
セツブンソウ ブタクサ
コスモス ヨモギ
カゼグサ オオイヌダテ

ススキ

日あたりのよい平地や山野に生える。秋の七草にもある代表的な草。



ハンノキ

山のしめったところに生える背の高い木。2～3月頃に花を咲かせる。



ガマ・コガマ

池や沼、しめったところに生える草。茶色いソーセージのような穂をつける。

コスモス イヌキクイモ ヨシ
オギ ナノハナ カワラヨモギ
セイタカアワダチソウ トネハナヤスリ
マコモ ハルジオン ハリエンジュ
ツクサ クズ ハンノキ
アカメヤナギ ガマ・コガマ ヒメガマ



カワラヨモギ

川原などの砂地に生える草。下の方は木のようになる。



魚と同じで、セイタカアワダチソウやハリエンジュなどの外国生まれの植物が増えてきて、今まであった植物が少なくなっているんじゃない。



7 渡良瀬川にすむ生きものたち

④鳥



●うさこの“はてな？”

みんなの家の近くにはどんな鳥がいるかしら？
見に行く時にはなにをもって行けばいいのかな？

渡良瀬川には、現在およそ89種類の鳥がすんでいます。（1998年調査）上流では、オオタカやオオワシなどの大きな鳥が見られます。中・下流では、サギ類が多く、広い河川敷にはオオヨシキリやセッカも見られます。沼など流れがよどんだ所ではカモ類などのわたり鳥が見られます。

ハクチョウ

えさはアシなどの水草の根やくき。くちばしが黄色い部分が大きいものがオオハクチョウ。小さいものがコハクチョウ。多々良沼には毎年冬に100羽以上わたってくる。



オオヨシキリ

夏に南西の方からやってくるわたり鳥。ヨシ原に夫婦ですみ、ふかいおわん型の巣をつくる。おもに昆虫を食べる。

上流

オオワシ

大きな木の枝や上や岩のかべに巣をつくる。冬になると北の方からとんでくるわたり鳥。渡良瀬川で一番大きな鳥。



オオワシ
オオタカ
カワセミ
ヤマセミ

ヤマセミ

流れの早い水辺にすみ、イワナやヤマメなどを食べる。木の枝などから魚をねらい、水に急降下してつかまえる。



黒坂石川

草木ダム

桐生川

中流

高津戸ダム

桐生市

下流

旗川

秋山川

三杉川

巴波川

思川

渡良瀬遊水地

足利市

矢場川

利根川

カワセミ

水辺の近くにすみ、巣は土のがけに穴をほってつくる。木の枝などから魚をねらい、水に急降下してつかまえるので「かりの名人」と呼ばれている。



ダイサギ

広々した田んぼや川、沼などにいる。魚やカエル、こん虫などを食べる。



カワセミ ツグミ
ベニマシコ オナガ
シジュウカラ トンビ
カルガモ マガモ
ダイサギ ゴイサギ
コサギ

ダイサギ ゴイサギ
コサギ ハクチョウ オオタカ
カワウ コガモ カルガモ
マガモ カイツブリ オオヨシキリ
コヨシキリ ホオジロ ノヒタキ
カワラヒワ タゲリ チョウゲンボウ
チュウヒ ノスリ サシバ

季節によってわたり鳥の種類もちがうんじやよ。
あ、そうそう、鳥を見に行くときには、
双眼鏡を忘れずにもっていくといいぞ。
鳥たちを、おどろかしてはいかんぞ！



8 渡良瀬川の風景

のこしておきたい風景

渡良瀬川には、いつまでものこしておきたい場所がたくさんあります。秋の紅葉がきれいな場所、夕日の見える場所、雨上がりに映える場所、みんなであそんだ思い出の場所・・・。

みんなの大好きな場所をいつまでも大切にしましょう。



●うさこの“はてな？”

みんなの好きな場所はどこがしら。川の写真コンクールもあるんですって。写真がじょうずに写せたら、出してみようかな！



〈日光市足尾町〉渡良瀬川源流



〈みどり市東町〉草木湖



〈桐生市〉友禅流し



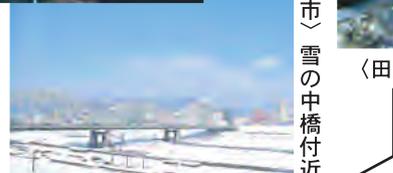
〈みどり市大間々町〉高津戸峡



〈足利市〉花火大会



〈田沼町〉旗川上流



〈足利市〉雪の中橋付近



〈佐野市〉秋山川み魂まつり
巴波川



〈館林市〉多々良沼



〈渡良瀬遊水地〉
広大なヨシ原



気に入った場所を見つけたら、写真だけでなく自分だけのおみやげを作ってみるのはどうじゃ？河原で石をえらんで、その石に思いついた絵をかいてみるんじゃ！

ペンには、油性のペンや耐水性のペン、アクリル絵の具を使うといいぞ。



9 渡良瀬川であそび

水あそび・さんぽ・スポーツ

渡良瀬川の河川敷は、公園やグラウンドなど、いろいろなことに利用されています。グラウンドで野球やサッカーをしたり、のんびりさんぽをしたり、魚つりをしたり、いろいろな楽しみ方があります。



草木ダムを一望してみよう！
(みどり市東町・草木ダム)



ホタルの池
(桐生市黒保根町・水沼運動公園)



ふかい谷をのぞいてみよう
(みどり市大間々町・高津戸峡)



てんぼう台やピクニック
(日光市足尾町・銅親水公園)



楽しいゆうぐがいっぱい
(桐生市・松原橋公園)



野球で汗をながしてみよう
(足利市・渡良瀬運動公園)



渡良瀬川をもっとよく知る
(足利市・ふれあい館せせら)



川とふれあう水あそび
(足利市・本町緑地)



河原でバーベキュー
(足利市・本町緑地)



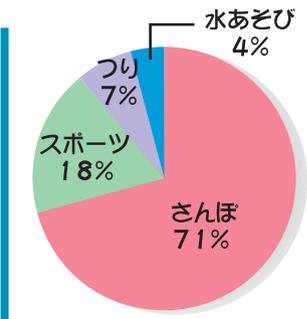
つりやヨットにチャレンジ！
(渡良瀬遊水地)



どてを自転車に乗って走ってみよう
(館林市・青少年ひろば)

●うさこの“はてな？”

下のグラフを見てみて！
渡良瀬川でどんなことをしているのが、しらべたんだって。
みんなもいろんなところへ出かけてみようね！



さんぽやつりは川のすべての場所でみられます。スポーツや水あそびは中流が多いようです。
(2000年に調査したものです)



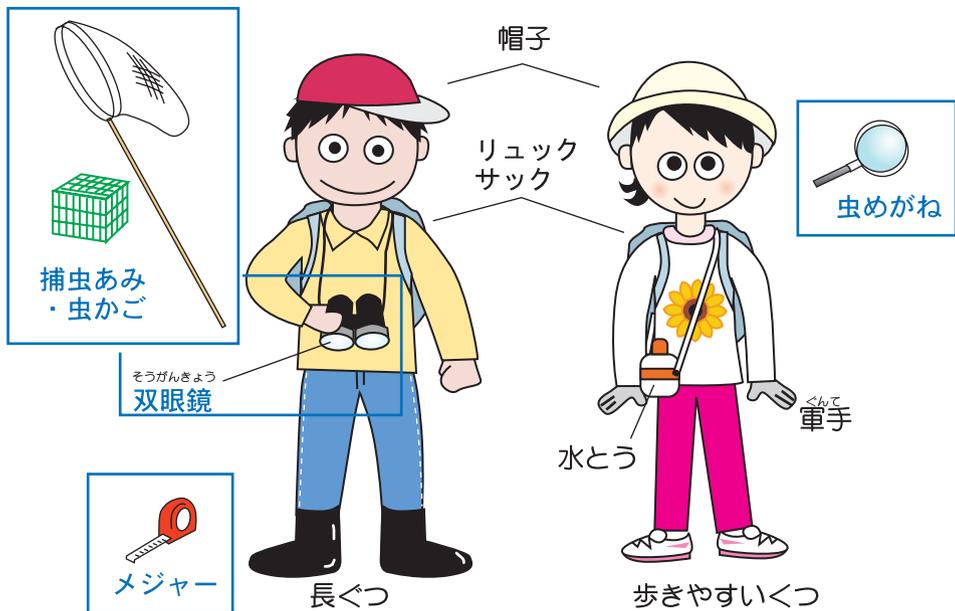
ところでみんなはインターネットを使ったことがあるかね？
『渡良瀬川you遊MAP』というホームページには、グラウンドやレジャー施設が紹介されているんじゃないよ。
下のアドレスにアクセスしてから、出かけてみるといいぞ。
<http://www.ktr.mlit.go.jp/watarase/>



川の中やそのまわりは、自然がいっぱいあり、楽しい遊びやいろいろな発見のできる場所です。

でも川には危険もいっぱい待ちかまえています。ぬれた石で足をすべらせたり、ガラスでケガをすることもあります。

出かける時は、服そうや持ち物にも注意しましょう。



【その他生物など観察する時便利なもの】
ピンセット 温度計
ビニールぶくろなど

【その他あると便利なもの】
たんけんノート (右の図を参考にしてみましょう) ・筆記用具
傷ぐすり 傘など雨具 タオルなど

川に行く時の注意点

- 行き先をおうちの人に伝えておくこと。
- ひとりではあそばないこと。
- 雨の後は、増水しているので川に近づかないこと。
- 体調がわるい時は無理をしないこと。
- ゴミはかならず持ち帰ること。



うさこもノートをつくってみようかな。
 私はお花が好きだから、どこでどんな花を見つけたかを書いてみようつと!

名前のわからない植物や生物も、絵や気がついたことをノートに書いておいて、家に帰ってから図かんで調べてみましょう。

(植物発見) ノート

川の名前 (桐生) 川 (中) 流
発見者 4年 E組 (かわの うさこ)
はっけんした日 9月15日 (日) 天気 (<曇り)
まわりのようす <input type="checkbox"/> 草がたくさんはえている <input checked="" type="checkbox"/> 石がゴロゴロしている <input type="checkbox"/> やぶにおお <input type="checkbox"/> その他 ()

発見した植物名前 ()

ぎざぎざしたは
 大きさ 13cm

(川のたんけん) ノート

川のなまえ (わたらせ) 川
たんけん者 3年 C組 (わたら せい)
たんけんした日 7月26日 (金) 天気 (はれ)
調査地点 (中流 ○○橋のそば)
川のようす <input type="checkbox"/> 川はば (せまい) <input type="checkbox"/> 流れ (はやい) <input type="checkbox"/> 深 さ (浅い) <input type="checkbox"/> 水 質 (きれい)

調査地点のようす

草がいっぱいはえている

その他気づいたこと



「たんけんノート」は「とりのノート」「花のノート」など、自分の好きなものから始めたらいいぞ。
 ほかの季節にもう一度行っても、おもしろいはずじゃ。